

美々津中学校便り

2月発行号

文責：横山 博章（校長）

早くも1月が終わりました。ここのところ寒さも厳しく、体調管理には気を付けていきたいところです。1月25日(水)、26日(木)には私立高校の入学試験がありました。2月2日(木)には県立高校の推薦入試もあります。3年生にとっては緊張の続く期間です。みんなでエールを送りたいと思います。

さて、3学期の始業の日の話の中から、今年の私自身の抱負として話したことについて紹介します。まず、「楽観的に構想し 悲観的に計画し 楽観的に実行する」そして「挑戦（チャレンジ）」という言葉についての話です。この二つの言葉は、京セラ 稲盛和夫 名誉会長の名言と人生哲学で述べられている言葉です。稲盛名誉会長は2022年に90歳で他界されましたが、京セラ創業者、一時経営破綻した日本航空の再建など、日本経済に大きく貢献された方です。この言葉の意味するところは以下のようにになりますが、いつも、このことを念頭に置きながら学校を進めていくことがとても大切だと感じています。

「楽観的に構想し 悲観的に計画し 楽観的に実行する」

新しいことを成し遂げるには、まず「こうありたい」という夢と希望をもって、超楽観的に目標を設定することが何よりも大切です。

天は私たちに無限の可能性を与えているということ信じ、「必ずできる」と自らに言い聞かせ、自らを奮い立たせるのです。しかし、計画の段階では、「何としてもやり遂げなければならない」という強い意志をもって悲観的に構想を見つめなおし、起こりうるすべての問題を想定して対応策を慎重に考え尽くさなければなりません。

そうして実行段階においては、「必ずできる」という自信をもって、楽観的に明るく堂々と実行していくのです。

「挑戦（チャレンジ）」

人はえてして変化を好まず、現状を守ろうとしがちです。しかし新しいことや困難なことにチャレンジせず、現状に甘んじることは、すでに退歩が始まっていることを意味します。チャレンジというのは高い目標を設定し、現状を否定しながら常に新しいものを創り出していくことです。チャレンジという言葉は勇ましく非常にこころよい響きをもつ言葉ですが、これには裏づけが必要です。困難に立ち向かう勇気とどんな苦労も厭わない忍耐、努力が必要なのです。

生徒の皆さんに、どのように受け止められたかは分かりませんが、特に3年生にとっては、『「必ずできる」という自信をもって、明るく堂々と実行』の部分はこれからの受験において発揮してほしい力ではないでしょうか。

2月は逃げると言われます。参観日・立志のつどい、期末テストなど控えている行事もたくさんあります。しっかりやり遂げていきましょう。

凧揚げ教室 1/13(金)



昨年12月に1年生は凧作りをしました。1月13日(金)の3,4校時に運動場でその凧を揚げました。当日は天気が心配されましたが、風も吹き、よく揚がりました。また、日向市ライオンズクラブの皆さんや凧づくり指導者の甲斐先生、美々津公民館長・社会指導員黒木先生等、多数参加いただき、凧の絵の審査や、高く揚がった生徒の審査を通して、生徒との交流がありました。美々津の伝統を繋げるために、今後も大切にしていきたい行事となりました。

いのちの教育 集会活動での橋口 愛先生の話

1月23日(月)集会の時間に橋口 愛先生が、いのちに関する話をしてくれました。その話の要旨について紹介します。

『屋久島の縄文杉を見に行ったとき、何千年も生きてきたその姿の美しさに感動しました。縄文杉にとっては何千年生きていた中の一瞬に自分が目の前にいると考えると、確かに自分が今を生きているということ、1日1日の重みを感じました。私たちは、平均寿命くらいは自分も廻りの大切な人も生きていけるのだと普段は思いがちですが、明日が必ずあるという保障はありません。杉が何十種もの植物と一体化して、多くの動植物と森の中で生きているように、私たちも家族・友人・いただく命など、たくさんの命と支え合って生きているのです。いつも、支え合う命に「おはよう」「ありがとう」「いただきます」など、言葉にすることで、自分の命や周りの命を大切にしていきたいものです。』



家庭科 出前授業



1月26日(木)5,6校時に日向工業の坂本穰司先生による家庭科の出前授業が行われました。2年生「住居」の分野でした。平屋建ての住居模型を製作しながら専門的な学習を進めました。2年生みんなが意欲的に学習しました。

全九州地域選抜中学校ソフトテニス大会

1月28日(土)29日(日)に熊本市で大会が行われました。日向市選抜として本校から谷岡杏々さん、野別楓梨さんが参加しました。レベルの高い大会に参加し、たくさんのことを学び、よい経験を積みました。今後には生かすことを期待しています。また、体育文化後援会から大会参加補助をいただきました。ありがとうございました。